

## 持続可能な暮らしを考える

### きたかみ環境未来塾

きたかみ環境未来塾第1回は1月31日、生涯学習センターで行われました。「新割リストが考える『里山利用』」をテーマに、深澤光さんを講師に迎え、薪のある生活の楽しみや岩手の里山利用について参加者は理解を深めました。この事業は、環境負荷の少ない暮らしについて考えるきっかけとするため、モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて市が開催。地域のエネルギー・環境・持続可能な暮らしをテーマに1～3月に全5回行います。

花巻市大迫町で自ら新割リストを実践する深澤さん



豆まき後は鬼と仲良く記念撮影。わがの里保育園5歳児クラス 写真は

## 心の鬼を追い払ったよ

### 第15回遊鬼まつり

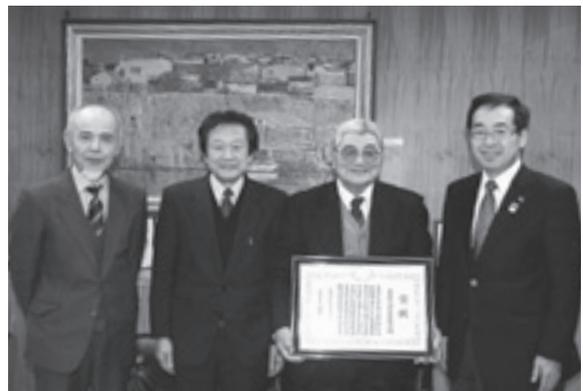
第15回遊鬼まつり事業(北上商工会議所青年部主催)は3日、市内の幼稚園・保育園9園で行われました。わがの里保育園では、園児143人が参加。自分たちで作った鬼の面を披露した後、節分について簡単な説明を聞きました。鬼が登場すると、一斉に鬼に向かって豆を投げつける園児たち。怖くて泣き出してしまう子もいましたが、最後には鬼と仲良しになりダンスや歌を楽しみました。片桐友愛ちゃん(6歳)は「心のおこりんぼ鬼を退治したよ」と話していました。

## 雪を使って冬を楽しく

### 第12回ふるさと雪っこまつり

第12回ふるさと雪っこまつりは1月25日、ふるさと体験館「北上」で行われました。和賀地区の冬の風物詩となったまつりでは、小学生以上が参加の「スノーフラッグ」や、雪に隠された宝物を探す「雪っこ宝さがし」のほかステージ発表などさまざまなイベントを開催。好天にも恵まれたたくさんのお客さんでにぎわいました。また、今年は前夜祭としてスノーサッカー大会も行われ、参加者たちは快晴の空の下、雪に足をとられながらボールを追いかけ汗を流していました。

雪に足をとられながらも、ボールをつなぎゴールを決めたスノーサッカー!



本年度は東北で4団体が受賞。高橋市長へ受賞の報告をする組合員の皆さん

## 東北農政局長賞を受賞

### 黒岩第1地区生産組合

黒岩第1地区生産組合(小田島良幸組合長)は1月23日、平成26年度東北農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰において、東北農政局長賞を受賞しました。これは、ほ場整備事業を契機に経営体を育成し、女性の労働力を活用して、地元の農産物を利用した豆腐加工や弁当仕出しを中心とした6次産業化などの取り組みを進めている同組合の活動が評価されたものです。小田島組合長は「今までの活動を認めてもらえた。夢のような賞をいただきました」と喜びを語りました。

## 障がい者とともに考える 元気な街づくりワークショップ

江釣子小学校と北上アビリティセンター主催の「6年生と考える元気な街づくりワークショップ」は18日、同小学校で行われました。6年生111人とセンター利用者など約20人が参加。簡単な手話教室や肌で音を感じる「抱っこスピーカー」を体験したほか、ワークショップでは元気な街(北上市)を作るための意見を出し交流を深めました。下瀬川空翔くうがさんと宮根彬あきらくんは「障がいのある人が困っていたら手伝おうと思う。あいさつは手話でしたい」と話していました。

ワークショップ後、グループごとに発表を行う児童たち



蛍光灯投光器などの取り扱いや今後の運用について確認する自主防災会の皆さん

## 自治宝くじで地域防災 災害時に備えて

黒沢尻東地区防災連絡協議会(音石裕士会長)は、地区の防災活動の向上のため、地区内10カ所の自主防災会へ携帯型トランシーバー・発電機・蛍光灯投光器などを配備しました。これは、(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業助成金(地域防災組織育成助成事業)を活用し、整備したものです。

協議会では、今後、災害時に有効に活用できるよう訓練を行うこととしており、黒沢尻東地区の地域防災活動・防災力の向上が期待されます。

## 図書館で映画はいかが 大人名画座(冬季)

大人名画座(冬季)は1月23日、中央図書館で行われました。映画を楽しむことをきっかけに図書館利用の機会を作り、利用促進を図ることを目的としたこのイベントは、昨年夏にも開催。夏の鑑賞者からの「またやってほしい」という希望に応じて企画されました。3回シリーズの名画座第1回には29人が参加し「右門捕物帖 二の巻」を鑑賞しました。今後は第2回「ローマの休日」が2月27日に、第3回「東京物語」が3月19日午後1時30分から上映。来年度夏にも開催予定です。

杉良太郎などが出演する時代劇「右門捕物帖 二の巻」を鑑賞する参加者



新しい園舎で、保育士と楽しく時間を過ごす園児たち(1・2歳児クラス)

## 新園舎で元気いっぱい 認定こども園 双葉幼稚園・ふたば保育園

認定こども園双葉幼稚園・ふたば保育園は2日、新園舎になり初登園日を迎えました。今までは3歳以上の子どもが入園する幼稚園でしたが、園舎を改築し幼保連携型認定こども園にすることで3歳未満の子どもも受け入れ可能に。新たに入園した1・2歳児は新しい園舎にすぐに慣れ元気に遊んでいました。今西界雄さいかいゆう双葉幼稚園長は「受け入れる年齢の幅が広がり子どもの発達に添ってきめ細かくサポートできます。保護者への支援も充実していきたいです」と話しました。